



発行所  
伊方町  
愛媛県西予郡伊方町湊浦  
〒796-03 伊方局38-0311

編集長 室  
町長 公  
豊 社  
八幡浜市松栢 22-0144

人がいて

- 夢がわき
- 流れが変わり
- 新しい町が
- つくられる

今月の紙面

二面……頑張ってます有様テレビ局  
三面……民話と伝説(白崎鼻の神輿々々)  
四面……町内の交通事故増える  
老齢基礎年金・歳時記  
住宅資金の受付始まる

# 台風19号災害

## 国の激甚指定受ける

### 町は利子補給で負担軽減

先の台風一九号被害に対する国の救済制度が十月十九日に決まりました。被害の大きかった愛媛県は天災融資法に加え、激甚災害法の指定も受け、融資枠が大幅に広がりました。

町では、農協とタイアップして利子補給や運用の緩和を図り、農家負担の軽減に努めます。

主な融資の対象は、台風により収量が三十%以上、収入で五十%以上の被害を受けた農家です。

農協と漁協では、すでに希



農家は温州みかんの取り入れに追われていますが、被害は大きく、大幅減収に

町と農協がタイアップして国の制度資金とは別に、被害を受けた農家に独自の融資を行っている。

被災農家特別経営対策資金で、農協が資金調達し、利子(八・三%)は町と農協が負担します。農家は無利子で融資を受けられます。

資金の総額は高農協合わせ約二億七千万円、最高二百万円です。

融資期間は二年据え置きで平成六年から五カ年間に償還することになります。果実の被災率は三十%以上が対象です。

### 県下初の特別制度も

町と農協がタイアップして、伊方町農協では二百四十五戸の農家から二億二千八百万円あまりの申し込みがありました。十一月十三日に融資を行いました。町見解でも六十戸の農家から三千九百万円の申し込みがあり、十一月末頃に融資を行うことになっています。

県下でも被害が大きかった温泉郡中島町、近隣では八幡浜青果農協でも融資制度を設けましたが、本町のような無利子の制度は県下で初めてのものです。この制度による町の利子負担額は約二千六百万円(償還期間だけ)となります。

### お済みですか 税の減免申請手続き

台風災害に伴う税金の減免申請に関するチラシを、十一月に区長さんを通じて町内全戸に配布しました。

減免の対象になる方は役場税務課または町見支所まで申し出てください。

この制度は、今回の災害に伴い町が独自に設けたもので、こうした税の特別減免処置としては昭和四十二年の干ばつ以来のことです。

農作物や家屋に大きな被害を受けた方は、平成三年度の町県民税や固定資産税、国民健康保険税が減免になります。

本人からの申請がないと税金の減免はできませんので、該当すると思われる方は今すぐ手続きをしてください。締切りが迫っています。

### 被災者の皆さん 働き先の相談受けます

12月1日から産業課で

町では十二月一日から就業相談所を役場産業課内に設置します。町内での就業を希望されます方は気軽に相談におこしてください。

この相談所は、先の台風で被害を受けた方に、緊急対策として町と職業安定所が協力して、仕事の斡旋をするものです。

就業先や仕事の内容などについては相談時に希望を聞き、相互に連絡を取りながら進めますが、今のところ伊方発電所の関連事業での作業を予定しています。

町外や県外などの取り扱いは従来どおり職業安定所が窓口になります。

受付期間は十二月一日から一月三十一日までの二カ月間の子定です。詳しくは産業課へお尋ねください。

▽相談所名 災害対策就業相談所  
▽設置場所 役場産業課内  
▽受付期間 平成三年十二月一日から平成四年一月三十一日まで(二カ月間)

▽対象 台風により被害を受けた町内に居住する方。年齢や性別の制限は特にありません。

# 有線テレビ局

見ていただいているでしょうか——。  
 今年の6月に放送を開始した八西有線テレビ局(HIC)は、手さぐり状態の開局から11月で半年が経過しました。  
 祭りや運動会などの身近な話題を取り上げ、なかなか好評のようです。  
 今月は、地域に密着した魅力ある番組づくりに奔走している現場取材してみました。

## 手おぼへる開局から半年

### 身近な話題で番組づくり

六月に開局した八西有線テレビ局(HIC)は、本町川永田の伊方町地域振興センター内に基地局があります。  
 八幡浜市と西宇和郡五町で運営しており、正式名称は財団法人八西地域総合情報センターと呼んでいます。このセンターの事業の一つが有線テレビ放送です。

現在、NHK二波、大分放送やテレビ山口などの民放六波、NHKの衛星放送二波、ラジオ放送四波を再送信しています。  
 このほか、地域の身近なニュースなどを放送するコミュニティチャンネル(自主放送含む)放送しています。

番組、気象衛星「ひまわり」からの映像や八西地域の気象データを提供する気象チャンネル、文字放送専用チャンネルがあります。  
 今のところ、自主放送番組の中心は一日約十五分間の八西ニュースです。一日に五回(再放送含む)放送しています。



毎日、午後4時頃から始まる録画撮り。慣れたとはいえ、緊張の一瞬

### 一市五町の広域事業

#### 職員も各市町から派遣で

第一期放送エリアは左側の地形図で色分けしたとおりです。本町と瀬戸町は町内全域ですが、保内町や八幡浜市などの一市三町は一部地域に限られています。  
 センターでは、市町と協議しながら順次エリアの拡大を検討しています。  
 自治体を取り組む有線テレビ事業としては、市町村単位が多く、当センターのような広域での事業は全国でもあまり例がないそうです。  
 それだけに移動するにしても三瓶町から三瓶町まで二時間近くもかかり、取材活動に時間を要するため、毎日の自

主番組の制作が大変のようです。今のところ前日に取材して、次の日に編集、放送を行っています。

また、事業運営に当たる職員は総勢十一人(男八人、女三人)。そのほとんどが一市五町からの派遣となっており、テレビ放送の知識も経験もないばかりです。  
 そのため、準備期間中に研修に参加したり、講師を招いて知識や技術習得に努めています。



行事内容を説明しながら、取材・編集方針を相談するスタッフ。番組の出来を左右するだけに熱が入る。

### 秋祭りをはじめて生放送

コミュニティチャンネル(自主番組)は、毎日約十五分の「八西ニュース」を中心に、週一回「わが母校の秋祭」と「赤ちゃんこ(こ)には」の企画物を放送しています。いずれも二十回あまりになっています。  
 このほか、十月上旬から始まった八西地域の秋祭り行事は生放送されました。開局以来初めてのことです。  
 三崎、瀬戸、九町、保内、八幡浜、三瓶の合計五カ所

長いところでは四時間にわたる長時間中継もありました。好評で「ぜひもう一度」や「ダビングできないか」などの問い合わせが多く、合計三度の再放送を行いました。  
 今後も、イベントやスポーツ大会などの生中継をどしどし行うことになっています。また、いずれは農漁業や過疎医療問題などの地域課題にも取り組み、番組内容の充実を図る方針です。

### アナウンサーです

毎日放送している「八西ニュース」担当アナウンサーです。よろしくお祈りします。



中川伸二さん (三瓶町出身)

開局当初から、月曜と水曜と金曜の八西ニュースを一人で担当。二人での司会と違い息を合わせる必要はないが、サポートしてくれる人がいないので別の苦勞も。「聞く人に分かりやすい表現」をモットーに。



岡元絹代さん (川永田出身)

紅一点の女性アナ。火曜と木曜の八西ニュース担当部内では「明るく、起転がきき、度胸満点。アナウンスにビッパリ」とのこと。ほとんど毎日画面に登場しており、身だしなみや衣装が悩みの種ようだ。



# 頑張ってます

## 加入率55%

十月末日現在の加入状況は下表のとおりです。八西地域全体で四千六百五十八戸。率にすると二十三・四％です。中では本町の加入率が高く五十五％、次いで瀬戸町の五十％の順になっています。五年後には全体加入率六十％を目指しています。

市町名	対象世帯数	加入申込数	加入率
八幡浜市	9,930	1,547	15.6%
保内町	3,778	645	17.1%
伊方町	2,627	1,431	54.5%
瀬戸町	1,260	625	49.6%
三崎町	770	162	21.0%
三瓶町	1,579	248	15.7%
計	19,944	4,658	23.4%

(平成3年10月末日現在)



得能悦子さん(畑)

近所の子供やお年寄りの皆さんが画面に写り、テレビがすごく身近に感じます。

先月の秋祭り特集は、見たことがなかった三崎や三瓶の祭りの様子が生放送され、興味深く見ました。ただ、内容説明などがあれば、もっと分かりやすかったように思いました。

身近なニュースを楽しんでいます。身近なニュース(前日とか)にニュース内容の予告がほしいことと、農家が多いので農業情報の提供もご検討ください。



※色分けした部分が第1期放送エリア

# 民話と伝説

取材先/湊 浦 補作/岡村 豊  
挿 絵/山本一路(湊浦)

80

## 白崎鼻の

## 神輿ヶ瀬

湊 浦

「白崎鼻」は、湊浦の白崎鼻を少し出たところに小さな瀬があつて、魚がよく釣れよつたところだ。

その瀬をなせか「神輿ヶ瀬」といふようになった。今じゃ、あの瀬も砂浜になつてしまつた。

昔は、湊浦の白崎鼻を少し出たところに小さな瀬があつた。願わくば、わが住む国に選り給ひ、万民の願いを叶へ給へと札押し奉り、立ち帰る宮農藤平治兵衛という人かたに泊まつたそう。

その晩、神仏のお告げが現われ不思議な夢に「私は

埋もつてしまつたらや、古文書によりますと。わらの先祖が諸国をめぐり歩いた時、豊前(今の福岡県)に行き、八幡宮を信心したという。神さんは人の正直をあわれみ請願心のままに成就したという。また、あ

明後日は山城の国(今の京都府)の男山に行。おまは、これから生まれた国へ帰。私を祈り神として祭れば、願ひごとが叶うさ。と言葉に出していうことも、有難くも恐れ多い事である。さつそ

いう。ときは、貞観十四年壬辰(みづのえたつ)十一月十六日である。二間四方にお宮を造り信心したという。八月十五日、駿河の国(今の静岡県)より八右衛門という者が来て、信心して三尺四方

の時、神前に向つて申しました。願わくば、わが住む国に選り給ひ、万民の願いを叶へ給へと札押し奉り、立ち帰る宮農藤平治兵衛という人かたに泊まつたそう。

その晩、神仏のお告げが現われ不思議な夢に「私は

埋もつてしまつたらや、古文書によりますと。わらの先祖が諸国をめぐり歩いた時、豊前(今の福岡県)に行き、八幡宮を信心したという。神さんは人の正直をあわれみ請願心のままに成就したという。また、あ

明後日は山城の国(今の京都府)の男山に行。おまは、これから生まれた国へ帰。私を祈り神として祭れば、願ひごとが叶うさ。と言葉に出していうことも、有難くも恐れ多い事である。さつそ

いう。ときは、貞観十四年壬辰(みづのえたつ)十一月十六日である。二間四方にお宮を造り信心したという。八月十五日、駿河の国(今の静岡県)より八右衛門という者が来て、信心して三尺四方

の神輿を二基奉納したという。それは、金箔に包まれたものであつたそう。

たという話もあるし、また、「権現御島船着」の根に建立したところが、海中が光り、往來の船が難風にあつたので、「御はな」へ行つて光をみ、佐賀岡から海士を雇つた親の海士は、潜水して「大だこが、からみついている」というて死んだ。子の海士は、大だこの手を切つて引き上げ、「御島」にお社を建てたが、なお船が難航するので、遷宮を祈願したら遷座できたという話もありま



身近な話題を追って管内を走り回って取材

## 申し込み

# 今なら年末までにOK

動八西地域総合情報センター(吉見弘安理事長)では、今年六月の有線テレビ放送開始以来、地域に密着した魅力

ある番組づくりに努めています。また、年末年始には特別企画もあり、番組内容もますます

充実します。加入しますと、テレビ十三チャンネルとラジオ四チャンネルが楽しめます。まだ加入していない方は早めに申し込んでください。十二月上旬までであれば、年内には、きれいな画面で多チャンネルの放送が見れます。

費用は、加入金が二万円で引込み工事が一万五千円です。このほか、住宅内部の配線工事費、月々の受信料などは別途必要です。

加入や工事についてのご相談、お問い合わせは動八西地域総合情報センター(三八二二二一)または最寄りの電気店までお願いします。

三人の中ではいちばん経験が浅い。火曜と木曜の八西ニュースを同姓の岡元アナと、オカモト、コンビで担当。慣れたとはいえ、まだ三月で冷や汗の毎日とか。「明るさと元気よく」がトレードマーク。

岡本正洋さん(八幡浜市出身)



(協力者) 是沢久雄氏(湊浦)

歳時記

もちつき

その昔、東京はまだ江戸であったころ、職人たちが大八車に、かまどやせいろ、うす、きね、まきなどを積んでまちを回り、もちつき歌に合わせて見振りも面白く、もちつきをした風習があったようです。

「昔は正月が近づくと、もちをつくのが楽しみだったけど、いまの子はそういう楽しみを知らなくてかわいそう」などよくいいますが、最近の子は意外にもちつきに親しんでいるようです。

町内の保育所でも、年末の行事としてもちつきをするところがあります。また、地域おこしや商店街のイベントとして、さらに、観光地の旅館や民宿でも、観光客の参加によるもちつきが盛んです。かけ声を発しながらベッタンベッタンとつくもちつきは、いまは出し物的な存在になりました。

また、最近では、真空パックになった切り分ちや丸もちを買って家でつくることが少なくなってきたようです。もちつきのスタイルが変ったように、もちにまつわる全国各地の風習も変わりました。かきもちやあらねりなど、昔ながらの保存方法も、最近ではあまり行われなくなりました。残ったもちを水で漬けて水もちにすることも、正月を迎え、もちを食べるといふ風習は、変わりがないようです。

12月は、援助を必要とする人や家庭が明るい運動が展開されるように、「歳末たすけあい運動」が展開されます。みんなで協力しよう。

兵庫県伊方町市浜三丁目十八番十二にお住みの吉本興一さん(小中浦出身)から、5万円(広報編集費用に)寄付いただきました。紙上から厚くお礼申し上げます。

お礼

お誕生おめでとう、よい子に育ってください。平成3年9月1日。9月30日。保護者 続柄 児名

さゆりか君



大破し、2人が死亡した衝突事故

十月十九日午前一時ごろ、八幡浜警察署の調べにより、国道一九七号線バイパスの九町域公園近くで死亡事故が発生しました。

八幡浜警察署管内では二月に市内で死亡事故が発生しており二件目。町内では昨年十月以来一年ぶりです。町や地元交通安全協会でも、安全祈願や安全思想の普及徹底に努めています。

交通事故増える 10月

正面衝突で二人が死亡

このところ、河内や丸岡、内丸西側などで追突や衝突で負傷したり、国道を中心に事故が増えています。警察署では、初心者への指導や主要道での夜間取締りの強化中です。

町内の交通事故

Table showing traffic accident statistics for October: 発生件数 70件, 負傷者数 33人.

みかんの取り入れ時期を迎え町内全体が慌ただしくなりました。この時期は交通量も、事故も増えます。農家の皆さんは青空駐車をしないようにしてください。一般の方は、チャットした気配りの運転をお願いします。交通事故防止は、みんなの願いです。

繰り上げは慎重に 老齢基礎年金

老齢基礎年金は、六十五歳から受けることになっていますが、要件を満たしていれば繰り上げて六十歳から受けることができます。このことを「繰り上げ請求」といいます。ところが、一度繰り上げ請求をしますと途中変更はできませんし、年金額も減額されます。次のことに注意しましょう。

- (一)繰り上げて請求した場合に、年齢に応じて年金額が減額されます。減額率は六十歳で四十二％、六十一歳では三十五％です。また、この額は六十五歳以降も変わりません。
- (二)障害基礎年金や寡婦年金が受けられません。
- (三)老齢厚生(共済)年金が六十五歳になるまで支給停止になります。
- (四)遺族厚生(共済)年金を受けられる場合に、六十五歳になるまでは、どちらか一つの年金しか受けられません。

人の動き

8,012人 | 男3,899人(=2人) | 女4,113人(+2人)

えんむすび

平成3年9月1日 9月30日 氏名 本籍地

おくやみ

平成3年9月1日

死亡者 19月30日 年齢 住所

金融公庫 個人住宅の融資受付始まる

住宅金融公庫では、平成三年度第三回個人向け融資の申し込み受付を開始しています。融資を希望される方は十二月二十日までに申し込んでください。



編纂担当が代わりました。ピンチヒッターです。以前に担当していたものの、四年あまりのフラックは思った以上でした。

町内の温州みかん生産量は六千八百トンの見込みです。前年比三割以上、市場出荷できる精品類は四割も減りそうです。せめて価格でも...と思うのですが、今のところ前年比三割増し止まりのようです。

よりよい社会を願って

- 明るいあいさつをしよう
- 時間を守ろう
- 町を美しくしよう

—ふれあい—

いかた

教育だより

〔発行〕 伊方町教育委員会  
 〔編集〕 社会教育課  
 〔印刷〕 豊豫社

学校・社会が一体で教育を

同和問題解決に向けた 啓発活動や学習活動への取り組み

伊方町同和教育研究大会

「現代に生きる私たちにとって、自分はどうすべきか、差別解消のためにいま何ができるかを考える」をテーマに十一月九日、中央公民館で第六回伊方町同和教育研究大会が開催された。

午前中は、三分科会に分れて、それぞれのテーマにより、同和問題解決に向けた実践発表や意見交換が行われました。

又、午後からは中学生による人権作文発表や、松山市教育委員会の岩本清晴先生をお迎えして講演会も行われました。



午前中の分科会には町同和教育協議会委員、会員、地域推進員、社会教育関係団体の百人余りが参加し、「差別解消のために、自分はどうすべきか、いま何ができるかを考える」を研究主題に三分科会に分かれて討議されました。

分科会には「啓発活動」「交流活動」「学習活動」で構成され、それぞれの会場で推進策、課題、問題点などについて話し合いました。次のような意見が出されました。

①地区別同和教育懇談会では、事前企画会を行い人集めについて話し合っており各班長が一軒一軒参加を呼びかけた。

②差別を見抜く目を養うこと

人講座の学習内容について検討中である。

③成人講座は、地域の課題解決と生活の合理化などについて学習し教養の向上を図っていくべきではないか、今日の学んだ研修を、今から地域に広げ、実践して行こうと午前中の日程を終えました。

午後は、午前中の参加者に加え、町行政職員、町内教職員など約三百人が参加して、中学校生徒代表四名の人権作文発表から始まり、伊方中学校一年 稲月千恵さんは「りえ子と話して」伊方中学校一年 米田亜佳音さんは「勇気を出そう」町見中学校二年 森元奈緒さんは「身体障害者の立場になって考えよう」町見中学校二年 井田志乃さんは「日本の差別について」と題して、それぞれ中学生らしく力強い発表がありました。

続いて、松山市教育委員会生涯教育課の社会教育指導員、岩本清晴先生から「同和教育に発想の転換を」と題しての講演がありました。

岩本先生は、「この市町村でも、同和教育といったら人が集まらない。差別は悪いことだ」という認識はある。P.T.Aは、子供を中心に教育の輪を広めていこう。啓発資料はお互いがよく工夫して有効に活用しよう。マスコミをもっと活用すれば、同和問題の正しい理解と認識が得られ、末端浸透がはかれるのではないかと、地区懇談会に人を集めるのではなく、自ら参加してもらうよう努力がたい。学習する主体は町民です。参加を強制したり、考え方を押しつけたら、町民の自主性にまっしかりません。差別の現実をしっかりと踏まえ、具体的事実を重視し、感性に訴えるように努めることが大きな課題です。お互い日本人じゃないですよ、あらゆる差別をなくすよう頑張りますよ」と話されました。

阿部・宇都宮の2氏 伊方町教育功労者褒賞を受賞

伊方町の教育振興に貢献のあった方々に贈られる伊方町教育功労者褒賞の受賞者として、前教育長・阿部嘉明氏(川永田)と前中央公民館長・宇都宮正義氏(湊浦)が選ばれました。11月4日(月)教育文化週間セレモニーの席上で、その贈呈式が行われました。



宇都宮正義氏(湊浦)



阿部嘉明氏(川永田)

阿部嘉明氏は、昭和五十四年十月から平成二年九月までの十二年間、教育委員に就任され、昭和五十九年十月に、教育長に就任し「心の豊かさ」を基本理念に七年間にわたって、伊方町の教育推進に多大な貢献をされました。教育長在任中は、生涯学習推進体制の確立をはじめ、伊方町誌改定版の発行、公民館の機能を生かした多面にわたる社会教育の発展に努められました。又、水ヶ浦小学校の建築、九町小学校の建設促進、教員住宅の建築等の教育環境の整備、教職員の高質と指導力の向上、新学習指導要領への円滑な移行等、学校教育の充実に努められました。宇都宮正義氏は、永年の教員生活を終えられた後、伊方町社会教育指導員、伊方町誌編集委員を歴任され、昭和六十二年八月から中央公民館長に就任以来三年四ヶ月にわたって、地域に根ざす社会教育の展開を基本理念に本町における公民館活動の推進に多大な貢献をされました。館長在任中は、公民館がコミュニケーションの核となるよう努められました。特に生涯学習の基盤ともなる自治公民館活動の活性化、生活運動の推進に熱心に取り組まれました。

差別をなくする強調月間

県民一人ひとりが人権意識の高揚を図り、差別のない社会をつくりましょう。

県では、同和問題の解決を全県民の手で達成するため11月11日から12月10日まで、「差別をなくする強調月間」を設定し県民総ぐるみ運動を展開します。新しい時代を生きる子供たちに明るい未来を手渡すため、家庭・地域・学校・職場など、あなたの身近なところから差別をなくする運動を広めていきましょう。

毎月第3日曜日は「家庭の日」です

12月のテーマ

- 1年間を振り返って、今後のよりよい家庭づくりについて話し合おう
- 冬休みの有意義な過ごし方について話し合おう。



安来節で隠し芸  
アラ エッサツサ  
の町見婦人会員



## ふるさと大会 も盛大に



わたしや真室川の梅の花  
九町民謡愛好会



野崎小唄を踊る  
可愛い絵里ちゃん

可愛い身振り手振で  
四人の京人形

## 有寿来小で 「収穫祭」

### 「収穫祭」

勤労生産的学習活動により収穫した里いもを地域の方々と共に自然の恩恵への感謝と親睦を深め合おうと十月二十五日、有寿来小学校で「収穫祭」が行われました。  
この収穫祭は、案内状から会場の設営、全体進行まで児童が自主的に行ったそうです。  
当日は、児童の家族や地域の一般の方、老人クラブ会員ら約八十名が招待され、恒例の「里いも収穫当り（ライス）」をはじめ、お弁当とのふれあいタイムや児童たちによる出し物や次々とびだし、会場内は爆笑でにぎわいました。  
又、招待された人たちも鍋を囲み児童たちの作った里いもをおいしそうに頬張っていました。



二編わん、手振りで収穫の喜びを体験



おもてんごぞの収穫祭

## 九町小では ふれあい 体験学習

### 体験学習

九町小学校では、九町っ子農園でとれたイモの収穫祭を十月二十五日西の浜海岸で行いました。  
この体験学習（勤労生産的体験学習）は、九町診療所近くの畑を借りて植え付けたイモを手入れ、イモ掘りから料理までを子どもたちが自然と親しみ、収穫の喜びを体験するものです。  
当日はイモを使って、シチュー、豚汁、カレー、パーベキュー、はんごう炊飯と盛りだくさんの料理を皆んなで協力して作り、楽しい食事の後は、収穫を祝う歌や踊りを学年別に発表し、楽しいふれあいが体験できたようです。

## 九町小学校に栄冠 PK戦を制す 第17回サッカー大会

十一月五日、伊方小学校で第十七回町小学校サッカー大会が開催されました。  
試合は、五チームが参加し変則リーグ・トーナメント方式（二十分ハーフ）で行われ決勝戦では、九町小が延長戦PKの末、粘る伊方小を敗り12年ぶり4回目の優勝をしました。  
試合の結果は次のとおりです。



○決勝戦  
九町小 1-1 伊方小  
(延長) 0-0  
PK戦 5-3

### 生涯学習は家庭円満に役立ちますか

テレビを見ながら夕食をたべて、それで一家団らんは終り。または、「お父さんの帰りが毎日遅い……」このような事はありませんか？  
家族そろってスポーツをしたり、同じ趣味を持つたり、何か活動をしている家庭は語り合うことも多いはず。  
子供達も心豊かな両親を求めています。  
生涯学習は家族ひとりひとりの世界を明るくいろいろと



り、ひいては楽しいなごやかな家庭をつくる基礎になります。

## 楠井岑昌氏(前伊方中学校 より油絵を寄附

このたび、保内町出身の楠井岑昌校長先生より、油絵を寄贈していただきました。  
楠井先生は、昭和59年から62年まで伊方中学校に在職され、美術を通して生徒の豊かな感性を育て、自己表現力の育成につくされましても活躍中です。  
この油絵(50号)は「鳥」をテーマに描かれたもので、中央公民館四階ロビーに掲示いたしておりますので、どうぞご覧ください。



## 起源のナゾ

○こたつは禅宗寺院から発祥  
こたつは火櫃子の末音で、室町時代に禅宗寺院で使用されたのが最初。いろいろあるいは火ばちにやぐらをつけ、その上にふとんをかぶせてこたつとするようになった。  
当時は、このやぐらのことをこたつとよんでいた。床に炬を切つてやぐらを個定したいわゆる堀りこたつで、高さも現在のものより低かったが江戸時代初期には「高こたつ」とよばれていた。  
寛永年間(一六二四-一四三年)、都会では移動可能で簡易な「置きこたつ」も使われはじめた。なお、腰掛けこたつは、イギリス人の陶工パーナードリリーチが一九〇九年(明治四二年)、東京上野の自宅に設置したのが最初である。

○ストーブの元祖は中国後漢時代  
中国の後漢の時代(二五-二二〇年)に、材料は鉄で、鑄造でつくられたストーブが世界で最も古い。たべをのせる穴が五つもあり、ゾウをかたどった四本の足でささえられている。この現物は、シカゴの自然歴史博物館が所蔵している。  
日本人は、幕末の外人が石炭や炭をおこしたストーブを使用しているのを見て、

〔光文書院  
「起源のナゾ」より〕

# ひまわりグループ 学習会をひらく

去る十一月十九日(火)、十三時三十分から町見公民館で学習会をひらいた。

幼児をもつ母親たちが、お互いに協力し、家庭、幼児、グループ、地域の課題を考えた学習と実践を積み重ね、地域の人々と交流を深め、母親の資質を高めようというもので、年ごとに会員は減少の傾向にあるが、学習会の趣旨を理解し参加してもらう会員が、一人、二人と増えつつあるのは頼もしい。母親としてわが子の幸せを願わぬものはない。

同和問題の解決を全県民の手で達成するために、十一月十一日(月)・十二日(火)まで、「差別をなくする強調月間」を設定し、いろいろな催しが行われた。

新しい時代に生きる子供たちに、明るい未来を手渡すため、家庭、学校、地域、職場

# 口碑と立ちばなし ⑳

【向】

## 紀元二千六百一年事業 「獅子記念」碑



毎年、十月十六・七日、九町の八幡神社の秋季大祭に、向の唐獅子舞が奉納されています。この獅子舞は、皇紀二千六百一年事業の一つとして、昭和十六年十月の秋季大祭に初参加してからはじめられました。町内中之浜から指導者を招き、獅子舞のすべてを教えてもらい、今に伝承して

います。九町の医師で、故井田与市氏の子息、井田豊彦氏、井田忠彦氏をはじめ、多数の地元有志の方々より、多額の浄財により、太鼓、獅子頭、衣装等が調えられたので、この碑は、井田両氏を称した。町内の唐獅子舞の発足を記念して立てられたもので、中国獅子舞の歴史は古く、

向の唐獅子も爾來五十年、着実に伝承され、軽快な太鼓のリズムに合わせて踊る獅子は、男性的で激しく、しかも武将の気分を表現するものと、地域の人々に親しまれています。

# キャッツアイBが初優勝 ポスト杯レクバレー大会



優勝のキャッツアイBチーム

立ちあがれ、今こそ見せよう、闘志と和。を大会スローガンに、伊方郵便局主催の第二回ポスト杯レクバレー大会が十月二十日、町見体育館で開催されました。

大会には、13チーム約100名の選手が出場し、各ゾーンとも激しい星のつぶし合いが行われ、どの試合も白熱戦となりました。決勝戦では、初の決勝進出へとコマを進めた、キャッツアイBとすみれクラブとの対戦となりましたが、キャッツアイBが念願の優勝を果たしました。



3位のわかばクラブ



2位のすみれクラブ

# ふるさと通信

## 俳句クラブ

- 葉をふるい鈴生りの柿色見ごと
- 「延命の水」すくい飲む秋通路
- 城下町らしき家並葛紅葉
- 四方の山紅葉の一樹無かりけり
- 炭火焼く秋刀魚の内臓のおいしかり
- 紅葉も竹の葉も浮く露天風呂
- 秋晴れて湖の香りのイリコ干す
- 文明も台風止むる力無し
- 天向いて朝顔の花咲き競ふ
- 燭の灯を見つめ台風過ぐる待つ

# 塩害の山に桜咲く

ボカボカとした小春日和の昼下り、伊方町の国道一九七号線(メロディーライン)から漆浦へ下る三差路の土手に桜の木が七、八分咲きの満開。桜の木の赤々とした満開の台風に九号が赤々咲いた満開の桜の山に桜咲く風景で、国道を走るドライバーの目を誘惑している。

草木が季節はすれに花の咲く現象から、掃り(返り)花、掃り咲き、忘れ咲き、狂い咲きといって、さまざまに呼ばれており、単に掃り花といえは、桜の花を指すよう、このように落葉樹の狂い咲きは、すでに花芽の分化した枝が台風や害虫の食害に裸となった後、異常な寒さや小春日和の



# 大黒さん 砲丸投で五位入賞

(全国青年大会)



大黒英美さん(大浜)

第40回全国青年大会が十一月八日から十一日にかけて、東京国立競技場で行われ、大黒英美さん(大浜)が砲丸投で81.72と自己ベストには及ばなかったものの堂々の五位入賞を果たしました。

# 大浜、県公民館連合会長表彰受賞

【県公民館研究大会】

県内の公民館関係者、約六五〇名が集い十月二十一日、大洲市において愛媛県公民館研究大会が開催されました。その大会において、大浜自治公民館が優良自治公民館として、愛媛県公民館連合会長表彰を受賞しました。

この表彰は、県内の自治公民館を対象に公民館活動に優れた実績を上げ、他の模範となる自治公民館を広く顕彰し、同大会で表彰されるものです。大浜自治公民館が受賞対象となったのは、組織、役員体制が整備され、地区住民参加の生涯学習に取り組み、又、冠婚葬祭の合理化、ふるさと祭りの定着が功績として認められました。



受賞を喜ぶ大黒文一さん(大浜・館長)

# 12月の行事予定

- 12月12日 ふれあい民話の夕べ(中公)
- 12月中旬 社教・公運審合同会議(中公)
- 12月中旬 体育指導委員協議会定例会(中公)
- 12月中旬 文化財保護審議会(中公)
- 12月17日 町青少年補導会連絡会(中公)

- ## 12月のくらし
- 1日 歳末助け合い運動
  - 4日 人権週間
  - 7日 大雪
  - 10日 世界人権デー
  - 15日 年賀郵便特別扱い
  - 23日 天皇誕生日
  - 24日 クリスマス
  - 27日 宮庁二用納め
  - 31日 年越し
- 大はらい 除夜の鐘

'91.12月

# くらしのカレンダー

■……保 健 ★……衛 生 ○……そ の 他

1 月						
日	月	火	水	木	金	土
			①	②	③	4
⑤	6	7	8	9	10	⑪
⑫	13	14	⑬	16	17	18
⑱	20	21	22	23	24	⑳
㉑	27	28	29	30	31	

月日(曜)	行 事	月日(曜)	行 事
12月 1(日)	○消防団模擬火災訓練	17(火)	■乳児健診(保健センター 13:00~14:30) ○入権相談(町民会館 10:00~15:00) ○税の徴収(向公民館 9:30~12:00)
2(月)	■健康相談(保健センター10:00~11:30) (川永田コミュニティセンター13:00~14:30) ■訪問診査(豊之浦 9:00~11:00) ■インフルエンザ予防接種②(有寿米小 13:30~13:50) (豊之浦小 14:10~14:30)	18(水)	■1歳6ヶ月児健診(保健センター 13:00~14:30) ○心配ごと相談(町見公民館 13:00~17:00) ○税の徴収(大成人憩の家 9:30~12:00) (鳥津公民館 13:00~15:00)
3(火)	■インフルエンザ予防接種②(大浜保 13:30~13:40) (水ヶ浦小 13:50~14:30)	19(木)	■あじさいの会(保健センター 13:00~15:30) ■インフルエンザ予防接種②(九町診療所 13:30~14:00) ○税の徴収(田之浦集会所 13:00~15:00) (二見公民館 9:30~12:00)
4(水)	○心配ごと相談(町民会館 13:00~17:00)	20(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:30) ★不用大回収日(役場,町見支所で受付) ○給食サービス(町見地区) ○税の徴収(豊之浦集会所 9:30~15:00)
5(木)	■健康相談(奥集会所 10:00~11:30) (豊之浦集会所 13:30~15:00) ■三種混合予防接種Ⅱ期,Ⅰ期未接種者(九町診療所 13:30~14:00)	21(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)
6(金)	■リハビリ教室(保健センター 13:00~15:30)	22(日)	
7(土)	■母子健康手帳交付(保健センター 9:00~11:00)	23(月)	天皇誕生日
8(日)		24(火)	
9(月)	■訪問診査(検査)(川永田 9:30~11:00)	25(水)	■訪問診査(13:30~15:30) ○給食サービス(伊方地区)
10(火)	■母親学級⑥(保健センター 13:00~15:00) ■健康相談(大浜老人憩の家 10:00~11:30) ■インフルエンザ予防接種②(伊方中 13:30~14:30) (川永田保 14:40~15:00)	26(木)	
11(水)	■高齢者調整チーム(町民会館 13:30~15:00) ■インフルエンザ予防接種②(九町保 13:30~14:00) (九町小 14:10~14:50)	27(金)	御用納め *平成4年1月3日まで、役場の窓口業務休みます。
12(木)		28(土)	役場土曜閉庁日
13(金)	■リハビリ訪問(13:10~15:30) ■三種混合予防接種Ⅱ期,Ⅰ期未接種者(保健センター 13:30~14:30)	29(日)	
14(土)	役場土曜閉庁日 *役場が休みになります。	30(月)	
15(日)		31(火)	
16(月)	■オレンジ例会(伊方公民館 9:30~14:00)		

## 脳卒中登録事業のおしらせ

- 脳卒中は、現在、日本人の死因の三大原因の1つであると共に、わたきりになる最大の原因となっています。
- このため県では、脳卒中の患者さんが寝たきりになるのを防ぐため、県医師会等の協力を得て、「脳卒中登録による地域ケア推進事業」を実施しております。  
これは、脳卒中であることを診断した医療機関が保健所に、更に、保健所から市町村に連絡があり、保健婦が患者さんと家族の相談に応じ、必要な保健指導を行うものです。
- 脳卒中登録者のための保健サービス
  - 保健婦の訪問指導  
登録された患者さんの家庭を保健婦が訪問し、わたきりや痴呆、それに、再発予防のために必要な家庭での療養方法などについて相談に応じ、主治医の指示のもとに必要な指導を行っています。

## 守られていますか、あなたの人権

12月4日から10日までの1週間は人権週間です。差別、いやがらせ、家庭問題、近所とのもめごと、いじめ、体罰でお困りの方は、お近くの人権擁護委員さんか法務局へご相談ください。  
相談は無料で秘密は堅く守られます。

- 機能訓練  
日常生活の機能維持が図れるよう、仲間で励ましあいながらリハビリをしています。
  - 健康相談  
再発予防のための、日常生活における「保健相談」、食生活についての「栄養相談」をしています。
- ★詳しくは伊方町保健センターへお問い合わせください。